株主の皆様へ

第158期中間報告書

2023年４月１日～2023年９月30日

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO

社会のために、お客様のために

「持続可能な社会の実現に貢献し、すべての人に快適で健康な暮らしのご提供」を目指します

代表取締役　社長執行役員

清田 徳明

当中間期決算の概要（連結）

売上高
3,397億円　前年同期比　104%

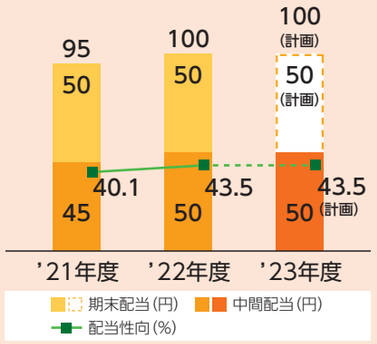
営業利益
153億円　前年同期比　74%

経常利益
229億円　前年同期比　79%

親会社株主に帰属する四半期純利益
167億円　前年同期比　88%

配当金の推移

当中間配当	50円
期末配当（計画）	50円



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年度も足元の市況は依然不透明であり、また、国際社会の分断等の制約も続いています。このような環境下にあっても、私どもTOTOグループでは、将来をにらみ、こだわり続けてきたTOTOらしいさまざまな取り組みが徐々に奏功してきています。本年８月には昨年に引き続き、お客様の新たなニーズにお応えできる新商品を、レストルーム（ウォシュレット）や洗面化粧台などで発売いたしました。「豊かで快適に過ごしたい」というニーズの高まりは、今後も継続していくと考えており、これからも「TOTOらしさ」をさらに進化させていきます。

当年度はTOTOグループが、2021年４月に策定した「新共通価値創造戦略　ＴＯＴＯ ＷＩＬＬ２０３０」を実現していくための最初の３年間である「中期経営課題（ＷＩＬＬ２０３０ ＳＴＡＧＥ１）」の最終年度です。

当中間期では、グローバル住設事業における日本住設事業は、住宅リモデルを中心に売上高が伸長し、外部調達コスト増などの影響を受けたものの、増収増益となりました。また、海外住設事業は、売上高は引き続き堅調な実績を残したものの、中国大陸・米州での不動産市況低迷の影響を受けたことなどにより、増収減益となりました。新領域事業におけるセラミック事業は、半導体市況低迷の影響を受け、減収減益となりました。

これらの結果、当中間期の連結業績は増収減益となりました。

なお、当中間配当につきましては、前年同期を維持し、１株当たり50円とさせていただきました。期末配当も同様に１株当たり50円とさせていただく予定です。

TOTOグループには「どうしても親切が第一」という言葉から始まる、初代社長から二代目社長に送られた書簡「先人の言葉」があります。TOTOグループは、いかなる環境にあっても、「どうしても親切が第一」というプライオリティを変えることはありません。変化する環境の中で、何を大切にしなければいけないのか、社員一人ひとりが腹落ちできています。一人ひとりが自分なりに「どうしても親切が第一」に基づき、社会のため、お客様のために、部門や国・地域を超えて行動できることがTOTOグループの最大の強みです。

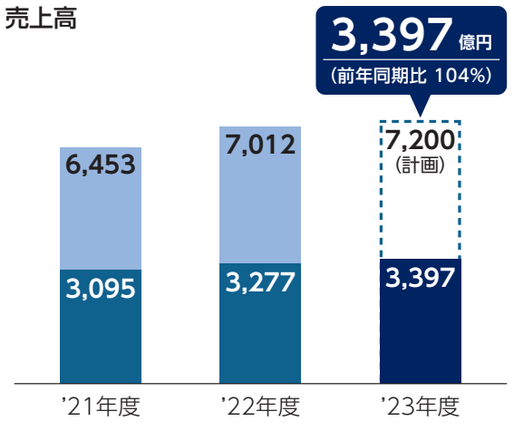
私たちの事業活動はステークホルダーの皆様に支えられ、協業しながら成り立っています。すべてのステークホルダーの皆様に感謝をし、ともに価値を向上させ、より良い関係を進化させていくことが、私たちの使命です。社会のために、お客様のために、「持続可能な社会の実現に貢献し、すべての人に快適で健康な暮らしのご提供」を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

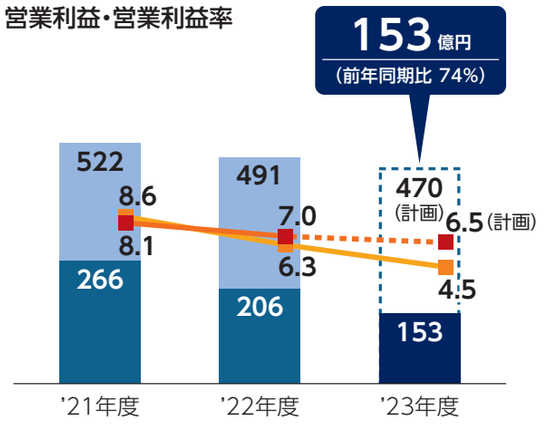
連結財務諸表(要旨)

連結損益計算書 (単位:億円)

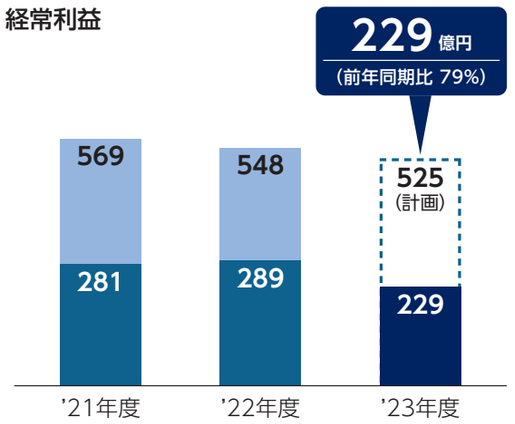
売上高



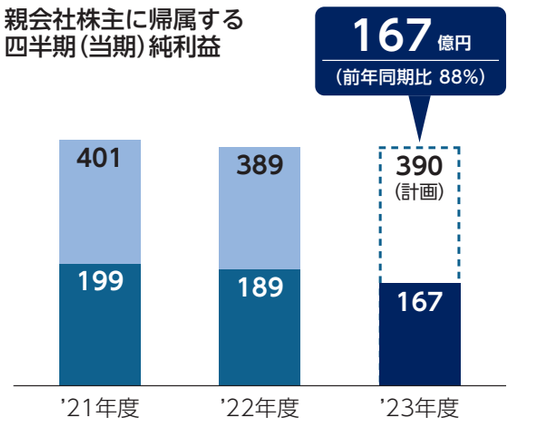
営業利益・営業利益率



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

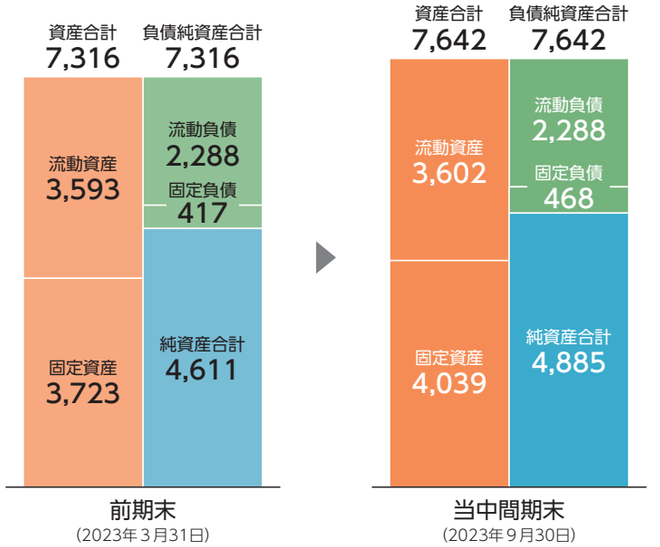


POINT

●当中間期において、グローバル住設事業の売上高は堅調に推移したものの、海外における不動産市況低迷や、セラミック事業における半導体市況低迷の影響などにより、増収減益となりました。

●通期計画においては、売上高は過去最高を見込むものの、海外住設事業やセラミック事業における市況低迷の影響などが継続する見通しで、当期純利益は前年並みではありますが、増収減益を計画しています。

連結貸借対照表 (単位:億円)



●資産の部

有形固定資産の取得に加え、為替の影響などにより、325億円の増加となりました。

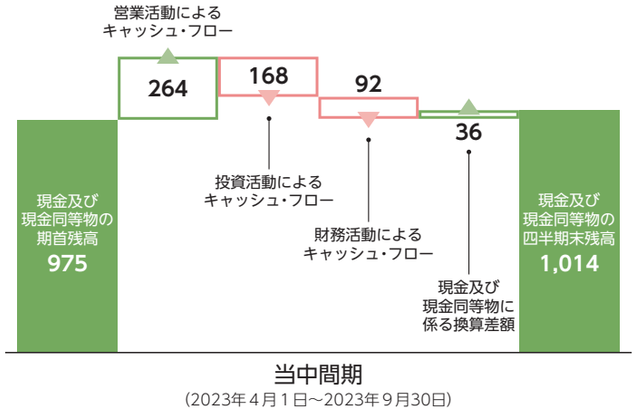
●負債の部

未払金の増加などにより、51億円の増加となりました。

●純資産の部

配当金の支払いで減少したものの、四半期純利益による利益剰余金の増加や為替の影響などにより、274億円の増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:億円)



●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業利益や減価償却費などにより、264億円の収入となりました。

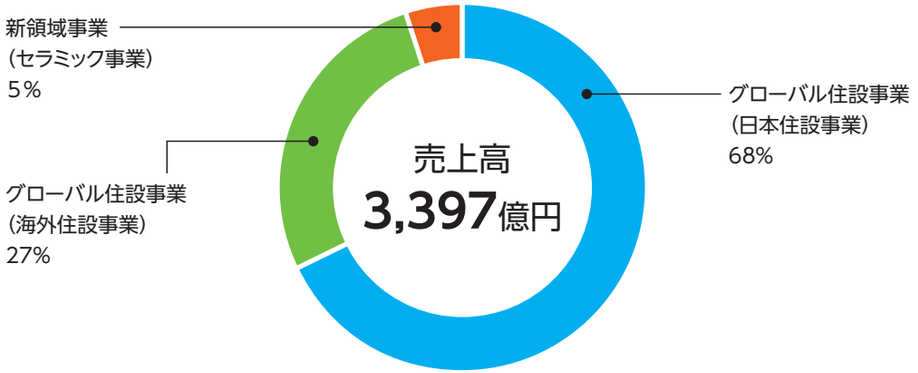
●投資活動によるキャッシュ・フロー

有形・無形固定資産の取得などにより、168億円の支出となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いなどにより、92億円の支出となりました。

当中間期のセグメント別業績の概要（連結）



グローバル住設事業（日本住設事業）

（単位：億円）

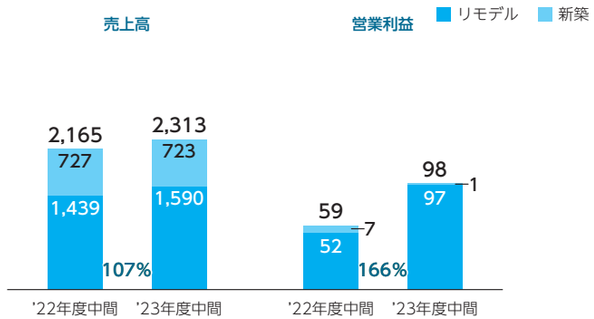
売　上　高　2,313億円

前年同期比　107％

営業利益　98億円

前年同期比　166％

住宅リモデルを中心に売上高が伸長し、外部調達コスト増などの影響を受けたものの、増収増益となりました。



グローバル住設事業（海外住設事業）

（単位：億円）

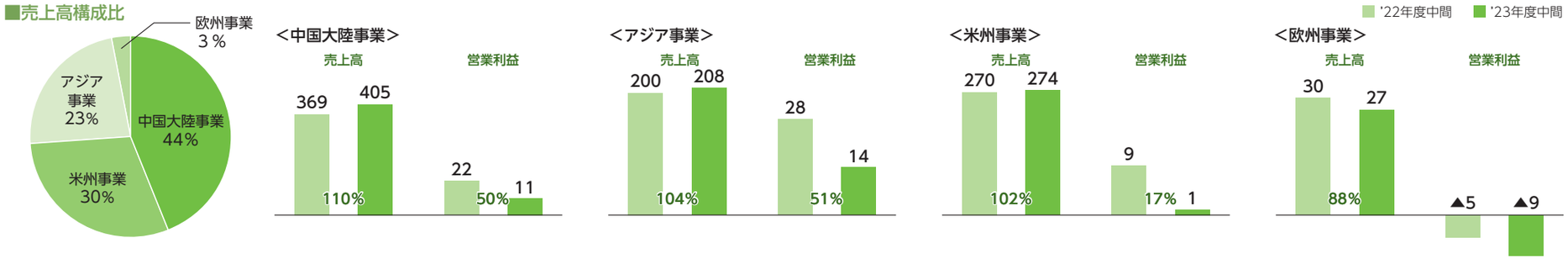
売　上　高　914億円

前年同期比　105％

営業利益　17億円

前年同期比　32％

売上高は引き続き堅調な実績を残したものの、中国大陸・米州の不動産市況低迷の影響を受けたことなどにより、増収減益となりました。



新領域事業（セラミック事業）

（単位：億円）

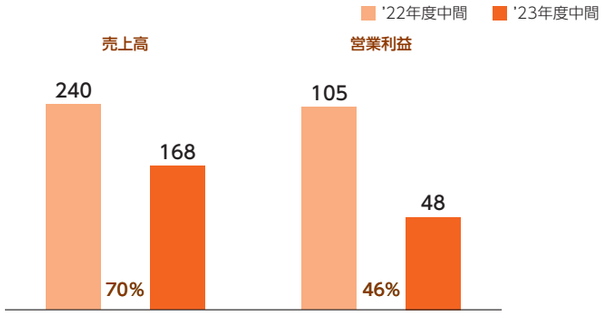
売　上　高　168億円

前年同期比　70％

営業利益　48億円

前年同期比　46％

半導体市況低迷の影響を受け、減収減益となりました。



為替レート（期中平均）

	2022年度		2023年度	
	第1四半期	第2四半期	第1四半期	第2四半期
1ドル	116.3円	129.7円	132.4円	137.5円
1元	18.3円	19.6円	19.4円	19.6円
1ユーロ	130.4円	138.3円	142.2円	149.6円
1台湾ドル	4.2円	4.4円	4.4円	4.5円
1ドン	0.0051円	0.0056円	0.0056円	0.0058円

◆TOTOグループ内の内部売上高または振替高は含んでいません。
◆各事業の営業損益には配賦不能費用は含んでいません。

新商品のお知らせ

温水洗浄便座

温水洗浄便座「ウォシュレット アプリコット」を新発売

住宅向け「ウォシュレット アプリコット」

デザインをよりスリムにし、TOTOならではのクリーン技術“きれい除菌水”を使った「便座きれい」を新たに搭載しました。

おすすめポイント

凹凸や隙間を極力なくした
高級感のあるフルカバーデザイン

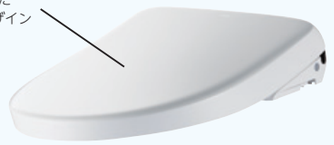
おすすめポイント

使用後に便座裏先端部分に
きれい除菌水をふきかけます

詳しくはコチラ

パブリック向け「ウォシュレット アプリコットP」

デザインをより進化させ、専用アプリの操作でお客様ご自身のスマートフォンをリモコンとして利用できる新機能「スマートフォン操作」を搭載したタイプも品揃えしました。



詳しくはコチラ

おすすめポイント

お客様ご自身のスマートフォンを
リモコンとして利用できます

洗面化粧台

「エスクア」「エスクアLS」を新発売

上質なデザインアイテムと使いやすさを追求した
機能を新たに搭載しました。

おすすめポイント

鏡の上下に配置したLED照明をセンサーで操作できる「パッとフェイスタッチレス上下LED・調色機能付き」

おすすめポイント

ボウルの横に自由に使えるカウンタースペースを設ける「片寄せボウルプラン」

詳しくはコチラ

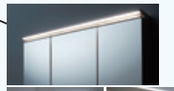
「オクターブスリム」を新発売

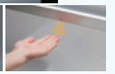
限られた空間にもぴったり納まる奥行きスリムな洗面化粧台「オクターブスリム」をフルモデルチェンジしました。

おすすめポイント

小物の一時置きに便利な「ちょい置きカウンター」

おすすめポイント





センサーに手をかざし、鏡の間口いっぱいのLED照明を操作できる「タッチレスワイドLED照明」

おすすめポイント

レバーに触れずに水が使えて衛生的な「タッチレスお掃除ラクラク水栓（自動吐水）」

水栓の吐水口が上部に設置されており水が溜まりにくく、お掃除ラクラク

詳しくはコチラ

「あんしんリモデル」のご紹介

TOTO あんしん リモデル

「リモデル宣言」から30年

お客様に“あんしん”を届けるため、TOTOはリモデルへの取り組みを進化させてきました

TOTOは、1993年に発表した「リモデル宣言」から30年にわたり、お客様に新しい生活スタイルの提案を続け、「『困った』を『よかった』に」から、「期待以上の満足を」へと、リモデルを進化させてきました。

2018年４月の「リモデルあんしん宣言」では、これまでのリモデルの思想はそのままに、リモデルにもっと“あんしん”をプラスしてお客様にお届けすることを目指しています。今後もリフォームの先駆者として、日本のリモデルをより魅力的で良質なものにすることに挑戦します。

1993年
リモデル宣言
「困った」を「よかった」に
生活者としてのお客様のために
日本の新しい生活文化を創造する

1994年
TOTOリモデルクラブ店発足

TOTO REMODEL club

1997年
CS宣言「お客様満足(CS)」の
重要性を宣言

1998年
全国100カ所ショールーム
展開計画を発表

TOTO・DAIKEN・YKK APによる
「TDYアライアンス」を締結

2002年

2003年

2004年
全国初のTDYコラボレーション
ショールームを広島に開設

2005年
「リモデルクラブ店」5,000店突破

リモデル新宣言
期待以上の満足を
お客様に最適な商品・サービスを提供する

2007年
「TDYコラボレーションショールーム」
を全国12カ所に拡大

「WEBで体験ショールーム」を開始

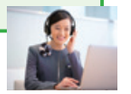
2008年
人と地球に
優しい暮らしを提案する
「グリーンリモデル」を提唱

GREEN REMODEL
TOTO DAIKEN YKK AP

2018年
リモデルあんしん宣言
リモデルにもっと“あんしん”を
リフォーム検討中のお客様の不安を解消する

2020年

2021年
「ショールームオンライン相談」
を開始



デザイン賞・発明賞の受賞

「THE CRASSO」が レッドドット・デザイン賞 ベストオブザベストを受賞

reddot winner 2023
best of the best

受賞対象：
カウンター
スクエアすべり台シンク
水ほうき水栓LF
タッチレス「きれい除菌水」生成器

「ネオレストWX」が レッドドット・デザイン賞、 iFデザイン賞をW受賞

reddot winner 2023

DESIGN AWARD 2023

「ウォシュレット一体形便器」・「クリーンドライ」が GREEN GOOD DESIGN AWARDS 2023を受賞

GOOD DESIGN

『レッドドット・デザイン賞』
ドイツ・エッセンの「ノルトライン・ヴェストファーレンデザインセンター」でデザインの専門家による革新性、機能性、品質などの基準に沿った厳正な審査で認められた商品に授与される、1955年から続く国際的に権威のあるデザイン賞。

『ベストオブザベスト』
レッドドットの全応募アイテムの2%未満にしか与えられない最優秀賞。

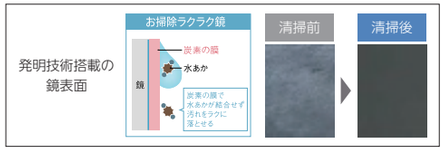
『iFデザイン賞』
ドイツ・ハノーバーに本拠を置く「iFインターナショナルフォーラムデザイン」主催のデザインの専門家による美しさ、機能性、革新性などの基準に沿った厳正な審査で認められた商品に授与される、1953年から続く国際的に権威のあるデザイン賞。

『GREEN GOOD DESIGN AWARDS 2023』
シカゴ アテナイオン：建築デザインミュージアム及びアイルランドのヨーロッパ建築アートデザイン都市研究センター主催の環境配慮に優れたデザインと先進的なテクノロジーを有する製品に与えられる世界的な環境賞。

「水垢汚れを抑止する清掃容易な浴室鏡の発明」が 令和５年度全国発明表彰において「発明賞」を受賞

今回受賞した発明は、炭素の膜で水あかのこびり付きを抑える浴室鏡です。通常、水あかは鏡と一体化し、こびり付いて落とすことが困難ですが、鏡の表面をわずか10ナノメートルの炭素の膜で覆うことで、簡単なお手入れで水あかをラクに落とす機能を実現しました。

本発明は「お掃除ラクラク鏡」として、TOTOのシステムバスルーム「シンラ」「サザナ」に標準搭載しています。なお、TOTOにおける全国発明表彰の受賞は今回で8回目となります。



サステナビリティの取り組み

サステナビリティ経営の推進により、SDGsに貢献する

TOTOグループは、社会が求める価値ある商品やサービスの提供により、持続可能な収益成長を図るとともに、サステナビリティ経営の推進を通じて、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標達成に貢献していきます。

世界的ESG投資指数「FTSE4Good Index Series」「MSCI ESG Leaders Indexes」の構成銘柄に連続選定

ESG投資の世界的指数である「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に８年連続、「MSCI ESG Leaders Indexes」の構成銘柄に16年連続で選定されました。

TOTOは、世界最大の機関投資家である日本の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する６つのESG投資指数すべてに継続選定されています。

これらの指数に選定されたことは、TOTOグループの事業活動、サステナビリティ情報の開示が評価されたことによるものです。

FTSE4Good

2023 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent

サンアクアTOTO株式会社　会社設立30周年

福岡県・北九州市・TOTO株式会社が共同出資した「サンアクアTOTO株式会社」は、1993年の設立から今年で30周年を迎えました。

サンアクアTOTOは、障がい者雇用促進をねらいとしたTOTOの特例子会社であり、障がい者が社員の６割を占めています。水栓金具の組立事業を中心にTOTOの安全・品質基準を満たした製品づくりに取り組んでいる製造グループ会社の１社です。

TOTOグループでは、障がい者雇用の推進により、ダイバーシティ＆インクルージョンを通じた“多様な個性を尊重し支え合える風土づくり”を目指しています。

JIS認証を取得

一般財団法人 日本品質保証機構 認証
日本産業規格認証取得工場
JIS B 2061
給水栓
JQ0819002

2020年には日本産業規格「JIS」認定を受け、最終製品の出荷工場となりました。

アビリンピックへの挑戦

個々が技能を磨き、障害者技能競技大会（アビリンピック）にも積極的に挑戦しています。

カーボンニュートラルに向けた取り組み

TOTOグループは、2050年にカーボンニュートラルで持続可能な社会の実現を見据え、「新共通価値創造戦略TOTO WILL2030」を策定し、地球環境に負荷をかけずに豊かで快適な未来社会の実現を目指しています。

国際的なイニシアチブへ賛同・加盟し、環境への取り組みの積極的な開示や再生可能エネルギーの導入、温室効果ガス削減目標の策定など、カーボンニュートラルの実現に向けた活動をグローバルで推進しています。

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言に賛同

「TOTOグローバル環境ビジョン」を推進エンジンとした経営戦略を開示しました。

RE100 CLIMATE GROUP CDP

国際的なイニシアチブ「RE100」に加盟

2040年までに全世界のTOTOグループにおける使用電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指します。

SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

「SBT(Science Based Targets)イニシアチブ」の認定を取得

2030年に向けた温室効果ガス削減目標が、パリ協定と整合した科学的根拠に基づく「世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準」であると認定されました。

事業所からのCO_2排出量削減

2030年までに事業所からのCO_2総排出量を **30%削減**(2018年度比)

化石燃料由来のCO_2削減への取り組み

◆衛生陶器焼成窯
高効率焼成窯の導入による削減 …… 国内外 **8拠点**に導入(2023年度上期)

◀小倉第一工場

電力使用時のCO_2削減への取り組み

◆太陽光発電設備の設置 …… 国内外 **17拠点**に導入(2023年度稼働予定含む)
◆再生可能エネルギー購入の推進
→「RE100」で目指している目標の前倒し達成を推進

◀TOTOベトナム工場

滋賀工場▶

商品使用時のCO_2排出量削減

2030年までにサステナブルプロダクツの商品構成比を **78%に拡大**

「きれいと快適」「環境」を両立した"サステナブルプロダクツ"の普及

サステナブルプロダクツ 主要商品の機能例

大便器

フチがなく、掃除しやすい便器形状

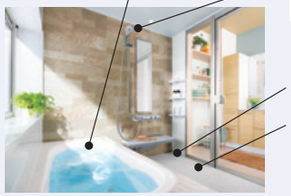
汚れやすいエリアをしっかり流す洗浄(トルネード洗浄)

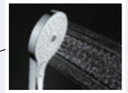
節水(1回あたりの洗浄水量4.8L以下)

汚れが付きにくい表面加工技術(セフィオンテクト)

浴室

保温機能があり、一定時間追い焚きがいらない浴槽





水に空気を含む節水シャワー

床洗浄機能(きれい除菌水)

断熱性能がありやわらかい床(ほっカラリ床)

グローバルに広がる社会貢献活動のご紹介

TOTOグループでは、地域及び地球規模での社会課題の解決を目指し、経営資源を有効に活用した社会貢献・地域共生活動を行っています。良き企業市民として世界各地の事業所でそれぞれの国や地域に根差した社会貢献活動に取り組んでいます。

「TOTO水環境基金」

2005年に設立した「TOTO水環境基金」では、水環境の保全や衛生環境の改善に取り組む団体への支援を続けています。現在に至るまで、国内42都道府県及び海外17カ国で活動する、のべ305団体に4億4,000万円を超える助成を実施しています。

インド

ウォーターエイド ジャパン

地下水の水質検査や給水設備の維持管理体制の構築により、人々の安全な飲料水の確保を目指しています。

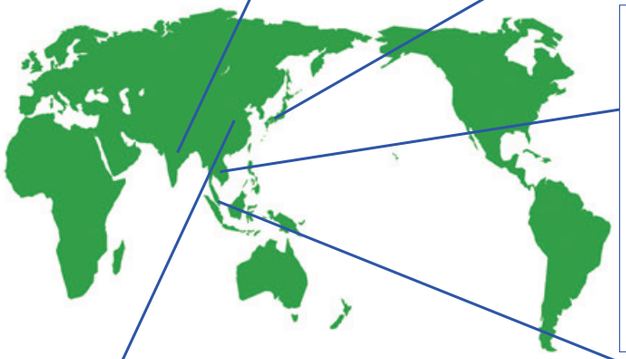
地下水の水質確認の様子

日本

水島地域環境再生財団

岡山県倉敷市内に多数存在する用水路での清掃活動を市民に呼び掛け、海洋ごみの削減に貢献しています。

社員もボランティア参加



学校建設の支援

ベトナム

TOTOベトナムでは、恵まれない地域の子どもたちのために学校建設に取り組むNGO団体の活動を2017年から支援しています。

支援金は社員や取引先からの寄付と合わせて拠出し、これまでに13校の建設をサポートしました。

建設した学校の子どもたち

「中華環境保護基金会 TOTO水環境基金」

中国大陸

2008年に中国大陸における「TOTO水環境基金」として設立し、これまで当地での節水・水資源保全に寄与してきました。

第5期にあたる2023年1月～2027年12月までの5年間で、寄付額は年間120万元(約2,400万円)とし、総額600万元(約1億2,000万円)を予定しています。

福建省での環境教育の様子

社員による清掃活動

マレーシア

TOTOマレーシアでは、3カ月に1度、有志による事業所の周辺清掃を実施しています。

毎回20名ほどの社員が参加し、地域共生の活動として取り組んでいます。

清掃活動に参加した社員

会社概要 2023年９月30日現在

■商　　号　TOTO株式会社(TOTO LTD.)

■本社所在地　〒802-8601
福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

■創立年月日　1917年(大正６年) ５月15日

■資 本 金　355億7,900万円

■グループ社員数　連結 33,451名
単独　7,912名

■営業品目

＜住宅設備機器＞
衛生陶器(大便器、小便器、洗面器、手洗器など)
システムトイレ、腰掛便器用シート(「ウォシュレット」など)
水まわりアクセサリーなど
浴槽、ユニットバスルーム
水栓金具(各種給水栓、排水金具など)
システムキッチン、洗面化粧台、マーブライトカウンター
浴室換気暖房乾燥機、環境建材(タイル、建材など)
福祉機器　など

＜新領域事業商品＞
セラミック(ファインセラミックスなど)

■役　　員

後列左から

取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	代表取締役 副社長執行役員	取締役 専務執行役員	取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	取締役 常勤監査等委員
武富 洋次郎	久我 俊哉	田口 智之	白川 敬	林 良祐	田村 信也	清水 隆幸	井上 茂樹

前列左から

社外取締役 監査等委員 社外	社外取締役 社外	代表取締役 社長執行役員	代表取締役 会長 兼 取締役会議長	社外取締役 社外	社外取締役 監査等委員 社外	社外取締役 監査等委員 社外
丸森 康史	山内 重徳	清田 徳明	喜多村 円	津田 純嗣	皿澤 修一	家永 由佳里

株式の状況 2023年９月30日現在

株式の状況

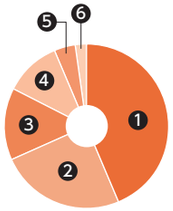
発行済株式の総数	176,981千株
株主数	45,351名

大株主

株主名	所有株式数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,630千株	19.2%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	12,741千株	7.5%
明治安田生命保険相互会社	10,358千株	6.1%
日本生命保険相互会社	5,393千株	3.2%
株式会社三菱UFJ銀行	3,087千株	1.8%
TOTO持株会	2,884千株	1.7%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2,521千株	1.5%
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,482千株	1.5%
日本特殊陶業株式会社	2,447千株	1.4%
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	2,301千株	1.4%

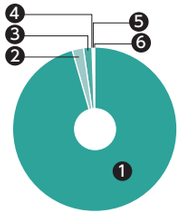
(注)持株比率は、自己株式(7,363,669株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



❶	金融機関	43.8%	(77,685千株)
❷	外国人	24.7%	(43,671千株)
❸	個人・その他	14.1%	(24,904千株)
❹	その他国内法人	11.2%	(19,756千株)
❺	自己株式	4.2%	(7,363千株)
❻	金融商品取引業者	2.0%	(3,599千株)

所有者別株主数の構成比



❶	個人	96.8%	(43,865名)
❷	外国人	1.7%	(775名)
❸	その他国内法人	1.2%	(564名)
❹	金融機関	0.2%	(87名)
❺	金融商品取引業者	0.1%	(59名)
❻	自己株式	0.0%	(1名)

◆千株未満切り捨て　◆小数第２位四捨五入

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月
配当金の受領株主確定日	期末　毎年３月31日、中間　毎年９月30日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日)
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 [公告掲載URL] https://jp.toto.com/company/ir (ただし、やむを得ない事情により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
上場証券取引所	東京・名古屋・福岡

証券コード	5332
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話　0120-232-711(通話料無料) 郵送先　〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

ウェブコンテンツのご紹介

■投資家・IR情報

株主・投資家の皆様に向けた各種情報を発信しています。

詳しくはコチラ

■統合報告書2023

TOTOの事業活動を経営とサステナビリティの観点からまとめた報告書です。

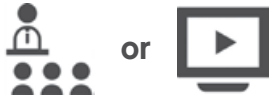
詳しくはコチラ

株式事務手続きに関するご案内

◆単元未満株(100株未満)のみを保有されている方

単元株(100株)まで買い増ししていただくと、以下のようなメリットがあります。
ぜひ買い増しをご検討ください。

株主総会へのご出席・ライブ配信の視聴



株主優待のお受け取り

単元株への買い増しイメージ

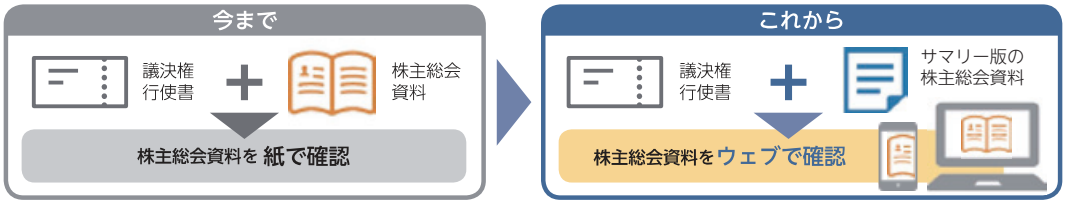
◆配当金を「配当金領収証」でお受け取りの方

配当金のお受け取り方法は以下の３種類があります。
弊社では、お支払期日から満３年間を経過した配当金は、お受け取りができなくなりますので、お受け取り忘れのない口座振込のご活用をご推奨いたします。

配当金領収証でのお受け取り	ご推奨 証券口座でのお受け取り	ご推奨 銀行口座でのお受け取り
「配当金領収証」を郵便局等に持参し、お受け取りいただく方法	お取引の証券口座でお受け取りいただく方法	ご指定の金融機関口座でお受け取りいただく方法

◆次回株主総会資料(招集ご通知)全編のご郵送を希望される方

2023年度より株主総会資料の電子提供制度がスタートし、株主総会資料は原則電子化されました。



TOTOでは、従来の招集ご通知のサマリー版を議決権をお持ちの全株主様にご郵送させていただきますが、従来通りの招集ご通知全編のご郵送を希望される株主様は、「書面交付請求」のお手続きが必要となります。

◆お問い合わせ先

各種お手続きに関しましては、お取引の証券会社もしくは弊社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

ご連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
0120-232-711
(受付時間:土日祝日を除く平日9:00～17:00)

表紙写真:THE CRASSO(ザ・クラッソ)

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

TOTO株式会社
https://jp.toto.com

UD FONT

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK